

社会環境の変化について (中間まとめ)

1 人口減少社会の到来(神奈川県 2018 年をピークに人口減少)

- (1) 人口減少地域の増加
- (2) 空き家の増加 など

2 少子化・高齢化の進行(2025 年問題→団塊の世代が後期高齢者に)

- (1) 高齢者の社会的孤立の増加
- (2) 貧しい高齢者の増加(無年金・無保険・生活保護受給者の増加)
- (3) 介護難民・看取り難民の増加 など
- (4) 少子化進行による家族形態・地域コミュニティへの影響の顕在化

3 人生 100 歳時代の到来

- (1) シニアがよりいっそう活躍する社会の到来(高齢者の社会参加の機会の増加)
など

4 格差社会の進行(所得格差、教育格差、地域格差、情報格差)

- (1) 社会的養護が必要な子ども(虐待・ネグレクト・心理的虐待の増加)の増加
- (2) 教育格差の進行(親の所得の影響、塾など学校外教育機会の格差など)
- (3) 医療・福祉分野における地域格差(地域特性の差)の顕在化 など

5 労働力人口の減少

- (1) 共働き世帯のさらなる増加
- (2) 働き方改革への社会的要請の拡大、生産性向上の必要性
- (3) 中小企業等(農林水産業含む)の後継者不足
- (4) 外国人労働者の受け入れへの社会的要求の拡大 など

6 各種工業技術、AI・IoT・ICT 等情報技術の発達

- (1) 自動運転車の実用化(2020 年代頃～)
- (2) 物流等におけるドローンの活用
- (3) AI の進化による既存職種の衰退、新しい職種の創出(求められる人材の変化)
- (4) ICT 等の更なる進歩による情報格差の進行 など
- (5) サイバーテロなどの脅威の拡大(あらゆるものが攻撃対象に)

7 大規模地震の発生(迫り来る脅威)

- (1) 危険地域(急傾斜地近傍や津波浸水想定区域)における、まちづくりの見直しの必要性の拡大 など

8 スーパーメガリージョンの形成(東京～名古屋が1つの超巨大都市圏に進化)

- (1) リニア中央新幹線の開通(2027年、東京～名古屋間40分)
- (2) 交通利便性、都市機能などにおいて、県内の地域格差が拡大 など

9 気候変動の影響

- (1) 温暖化の進行による異常気象の頻発
- (2) 生態系への影響の顕在化(生物多様性への悪影響) など

10 エネルギー体系の変化

- (1) 水素エネルギー普及の本格化
- (2) 再生可能エネルギーの一般化(低廉化) など

11 国外との往来の活発化(日常化)

- (1) 国際交流機会の増加
- (2) 国際化に伴うテロ等組織犯罪の脅威の深刻化 など